

非常通信セミナーで耐災害ICT研究成果を発表

東北情報通信懇談会は、総務省東北総合通信局、東北地方非常通信協議会、東北電気通信協力会との共催により、平成26年12月5日に宮城県仙台市において「平成26年度非常通信セミナー」を開催しました。

セミナーでは、独立行政法人情報通信研究機構（以下、「NICT」という。）耐災害ICT研究センターの若菜 弘充 企画室長から、東日本大震災を教訓とした総務省、NICT、東北大学、民間企業の産学官連携により平成23年度から取り組んできた耐災害ICT研究成果と、東北大学片平キャンパスに設置された産学官連携による研究開発拠点「NICT 耐災害ICT研究センター（センター長：根元 義昭 東北大学名誉教授）」の役割等が紹介されました。



【NICT 耐災害ICT研究センター全景】

また、NICT 耐災害ICT研究センターの浜口 清 ワイヤレスメッシュネットワーク研究室長から、東北大学の片平キャンパスと青葉山キャンパスに設置された研究開発テストベッドを活用した研究開発成果や、宮城県女川町で実証実験を行っている耐災害ワイヤレスメッシュネットワークを活用した全国非常通信訓練の実施など、耐災害ICT研究成果の5つの活用事例が紹介されました。

続いて、東日本電信電話株式会社の高橋 正行 取締役（ネットワーク事業推進本部サービス運営部長 高度化推進部長）から、NTT 東日本が東日本大震災を教訓に取り組んできた「ネットワークの信頼性向上」、「重要通信の確保」、「サービスの早期回復」を基本方針とする様々な耐災害性強化策について紹介されました。

会場では、NICT 耐災害ICT研究センターによる「耐災害 SNS 情報分析システム



【機器等の展示模様】

（DISAANA：ディサーナ）」や災害に強いワイヤレスメッシュネットワークの研究成果である「小型無人飛行機中堅局」の紹介VTR、宮城県女川町で実証実験を行っている「耐災害ワイヤレスメッシュネットワーク」の紹介パネルが展示され、多くの方がNICT 耐災害ICT研究センターからの説明に聞き入っていました。

なお、「耐災害 SNS 情報分析システム（DISAANA）」は、NICT の Web 上に試験公開されています。

※ NICT プレスリリース：<http://www.nict.go.jp/press/2014/11/05-1.html>